

事前確認

1. 処理面の調査

- ・新築か補修かによって、また素材の種類によって施工の工程、数量、養生などに影響があるので、十分に確認してください。
- ・必ず施工前に試し塗りをを行い、仕上がり感を事前にチェックしてください。



前処理

1. 処理面の汚れ、油分などを除去し、清浄かつ完全に乾燥した状態にしてください。(含水率：ケット水分計5%以下)
2. 処理面のクラック、ジャンカなどのあるときは前もって補修してください。(クリヤー仕上げの時は色合せ補修をしてください。)但し、壁面で0.3mm幅以下のクラック、ピンホールの場合はそのまま補修なしでアクアシールを塗布しても、吸水防止性能が得られます。
3. 溶剤の影響を受ける可能性がある周辺（ガラス、庭木など）に対しては必ず養生してください。
4. 風向き、気温等の影響および塗装の方法により臭気が強く感じられることがありますので臭気対策のための養生を行ってください。



施工I(アクアシール)

1. アクアシール 200Sは希釈せずそのまま使用してください。
2. 塗布方法は、原則としてローラーで施工してください。(スプレーで塗装される場合は、周辺の養生をより確実に行ってください。)
3. アクアシール 200Sは乾燥すると塗布面と未塗布面との区別が付きにくくなります。塗りもれのないようブロック毎等、中断することなく連続で塗布してください。
4. アクアシール 200Sを塗布面にむらなく十分に浸透させるためには、一度に厚塗りせず2回塗り重ね、規定量0.2～0.24L/m²を確実に塗布してください。(スプレーで塗布される場合は、霧散しますので2～4割程度多めの量を塗布してください。) アクアシール 200Sは浸透型ですので追かけ塗りが可能です。
5. アクアシール 200Sの塗布面は20℃、6時間以上乾燥養生してください。



施工II(アクアトップF)

1. アクアトップ Fは、専用シンナーで希釈し使用してください。
2. アクアトップ Fの塗布量は2回で0.2～0.24kg/m²としスプレーにて均一に塗布してください。特に、膜厚により大きく色調が変わる場合がありますので、一度に厚塗りせず、色相を見ながら、タレのないよう、塗布量の微調整を行ってください。
3. 1回目の塗膜は20℃、**30分程度**で乾燥します。その後2回目を塗布してください。2回目はタレやすいので注意してください。
4. 仕上げの塗装後20℃で**3時間以上**の養生が必要です。
5. シーリング用の目地は養生し、塗料が付着しないように工夫してください。シーリング材の上にはアクアトップ Fの塗膜が付着しない場合があります。
6. アクアトップ Fが処理面以外に付着した場合、速やかに専用シンナーで拭き取ってください。



検査

1. 塗りムラ、塗り残し、塗布量不足、ピンホール、キズ等を確認してください。

※施工にあたっては、必ず施工手順書をご請求ください。